

給付金10万円の使い道は、「生活費の補填」や 「貯蓄」という堅実的な声が多く見られました



先月、特別定額給付金10万円が支給されることが発表になったことを受け、**Ipsos UU**では、<u>シンジケートコミュニティ</u>に参加しているメンバー達に、「給付金10万円の使い道」について問いかけてみました!その結果、新型コロナウィルスの影響による収入減や先行き不安により、10万円は生活費補填や貯蓄にまわすという声が多く、趣味や娯楽などに使ったり、「経済をまわす」という形で使用する意識が弱いことが浮き彫りになりました。

<調査結果の抜粋> 10万円の給付金をどのように使いますか?

使い道として回答が多かったものは・・・

①生活費の補填

食費が普段よりも増えているため、生活費にきえていきそうです(涙)欲を言えば、部屋の衣替えの為に使いたいところですが、夫の夏のボーナスも期待できないため、無駄遣いは出来ないのが現状です。



4 仕事が激減したので、その穴埋め(生活費の足し)に使わせてもらいます。





44

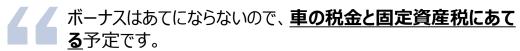
今の状況を見ていると この先何が起こるかわからない。そう考えると 貯金です。 ひたすら貯金。



この先がまるで見通せないので手をつけません。手をつけられません。不測の事態に備えて貯金します。

③子供の学費・住宅ローンの返済・納税の補填

娘2人の学費にあてがいます。本当は経済活性化のために使わないといけないのですが、休業要請を受けて、**自分の給与**が減ったためその穴埋めになりそうです。





住宅ローンの返済に充てるつもりです。この先、コロナが収束しても**コロナ不況は続く** と思うので、ローンは少しでも減らしておきたいです。

仕事が減ったことによる収入減、食費の増加、テレワークのための不意の出費、ボーナス削減、経済への不安・・・・などによって、なかなか本来使いたいことに使うのは難しいのが現状のようです。

ただし、一部ではありますが、下記のような「アフターコロナ」の新しい日常を見据えた使い道も挙がっておりました。

●終息後の外食・旅行

"旅行にいけるようになったら夫婦で温泉旅行に 行くときに使いたい。"

"終息したら、家族で食事を豪華に使う予定です"

● 休業続きでピンチの企業へ・・・

"映画や観劇など、今、苦しい思いをしながらも、 おうちで楽しく過ごせるよう、さまざまなコンテンツを 提供くださっているエンタメ業界にお金を落としたい"









<調査概要>

調査目的: 特別定額給付金10万円の使い道を把握する

対象者: シンジケートコミュニティに参加する20代-60代男女647名

実施日: 4/27(木)~5/11(月)

イプソスの『シンジケート・コミュニティ』で、消費者の"今"について気軽に聞いてみませんか?



詳細につきましては、担当までお問合せ下さい

イプソス株式会社 | http://www.ipsos.jp

担当:野口 junko.noguchi@ipsos.com | 井上 sayuri.inoue@ipsos.com